



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

# 玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2014年11月①発行

## 議会報告

長かった9月～10月にかけて開催された議会が昨日終了しました。

今回は、H25年度の決算を審議する他に、現在社会問題になっている「**子どものいじめの防止対策**」「**不良な生活環境(いわゆるごみ屋敷)の対策**」来年度から実施の**子ども子育て支援法に関連する条例**が提案され、審議しました。

いじめ防止対策については以前に報告をしましたので、今回はいわゆるごみ屋敷に対する条例について報告をします。

ごみ屋敷になってしまうのは個々人の原因が問題です。病気や障害、認知症、貧困などが背景にあり、ごみを片付けたらいいというものではありません。今回の条例案が提案される経過で、ごみ屋敷になってしまっている方を支援されておられる医師や弁護士、ボランティアの皆さんから、大変多くのご意見が寄せられました。要支援者の人権を尊重し、支援を中心に対応してほしいという意見です。

しかし、京都市は指導や命令に従わない時には、氏名を公表したり、罰則として過料などの制裁措置を課したり、強制撤去を盛り込んでいます。そこで、制裁措置は、地域で要支援者を孤立させるだけで、やめるべきと提案し、専門家による審議会を設置することが必要と一部修正提案をしました。残念ながら、他党会派の反対で否決されましたが…。



今回、問題を残したままの条例が可決されてしまいましたが、市民の皆さんの粘り強い働きかけで付帯決議として、支援を中心にすることや専門家の意見を聴く会議を持つことなどを付けることができました。

関係団体や、専門家の皆さん、市民の皆さんから、ご意見を頂き、条例作りに携わったことは大変勉強になりました。これからも頑張ります。



は、安心して預けられる保育園をもっと増やす必要があります。

さらに、仕事が自営業だったり、パートや就職活動中だと、優先順位が下がります。同じような時間働いているのに、保育園に入る時に評価されるのは理不尽さを感じます。兄弟姉妹別々の保育園にしか入れないということもあり、その苦労は計り知れません。若い子育て世代を応援するために

## 『チェンジブラック社会』

大阪選出のたつみコータロー参議院議員を囲んでの若者の働き方を考える企画があり参加しました。

大学生が奨学金をもらい、バイトで働きながら、苦勞している様子がたくさん報告されました。日本の奨学金は貸与制です。給付制にして、卒業後に借金で苦しむことがないようにすべきと日本共産党は提案しています。有利子の奨学金はすぐにでも無利子にすべきです。

さらに、公務員労働の現場でも半端でない長時間勤務をしている実態も報告され、自殺者もあるという発言には背筋が凍りました。

人間らしく働くルールを作る必要があります。若者の将来にとどまらず、日本の将来は大変なことになります。ブラック企業やバイトをなくすために、日本共産党は参議院で議席を増やし、手に入れた議案提案権を使い、参議院に「ブラック企業規制法案」を提出しました。すると、さっそく、厚労省は、離職率の公表の徹底を行うなど、前進面を作り出していること等、たつみ参議院議員から、報告がありました。

リニヤ新幹線に膨大なお金が使われ、もし、JRが倒産しかかるようなことになれば、結局、国民の税金が投入されることになる。というお話は納得でした。お金をだすのはJR東海だから、政府や地方自治体の懐は痛まないという説明は詭弁といことです。



右がたつみコータロー参議院議員、左が玉本市会議員

保育園が足りない!

アンケート

